

エペソ人への手紙 #5 - 愛の傑作
ポー・スターン・ブレイディ
2024年・7月・7日

“わたしたちは神の作品であって、良い行いをするように、キリスト・イエスにあって造られたのである。神は、わたしたちが、良い行いをして日を過ごすようにと、あらかじめ備えて下さったのである。”

エペソ人への手紙 2:10 口語訳

父は仕事が好きでした。私が父の仕事について初めて知ったのは、母が毎晩父の弁当を作っていたときでした。ニンジンのスティックを切ったり、魔法瓶にお茶を入れたり(「お父さんはなぜ仕事中はお茶を飲んで、仕事がないときはコーヒーを飲むの?」「それが父のやり方よ、ポー」)、母が魔法瓶をカウンターの上に置いたのを覚えています。午前3時に起きて父の手に魔法瓶を渡し、さよならのキスをするなんてあり得ないと思ったからです。午前3時に始業するにもかかわらず、父は仕事が好きでした。父が丸太を運んでいる間、仕事について悲しんだりイライラしたりしたことを一言も覚えていません。父は仕事が好きでした。時々父と一緒に出かけ、助手席にシートベルトなしで座り、家から日の出を眺めていたことを覚えています。小さな女の子が父親と一緒にとても大きなトラックに乗っていて、いつもチェック柄のペンドルトンのシャツを着ていて、そのトラックが運ぶどの木よりも父親が強いと思っていたことを。私たちは、細く曲がりくねった道を運転して人里離れた場所に行き、大きな機械がトラックに丸太を積み下ろし、それを鎖で巻いて固定しました。父は時々、これらの丸太が最終的にどこに運ばれるかについて話していました。このトラックは、誰かの家の壁や、天候から守る屋根、あるいは子供や孫に受け継ぐ家具を運んでいるのかもしれませんが。父は地味な仕事をしていたですが、自分の仕事の価値を理解していました。自分が何をしているのか、なぜそれをしているのかを知っていました。それ以上に、父はその喜びを理解していました。ちょうどポッドキャストで父が午前3時にトラックを運転していた頃のことを話しているのを聞いたのですが、父は「天国のようだった」と言っていました。父は自分の仕事が好きです。そして今、私も自分の仕事を愛しているので、その意味がわかります。そしてこの観点から、父の仕事は3つの明確なものを提供していたことがわかります。それは、私たちの収入、誰かにとっての美しいもの(家、家具)、そして父の深いアイデンティティと使命感です。父は、自分が生まれてきた目的をまさに実践していることを知っていました。

エペソ人への手紙に目を向けると、ここでも働く神がいます。

“わたしたちは神の作品であって、良い行いをするように、キリスト・イエスにあって造られたのである。神は、わたしたちが、良い行いをして日を過ごすようにと、あらかじめ備えて下さったのである。”

エペソ人への手紙 2:10 口語訳

この聖句を読むと、神はすでに仕事を終えて、今は天国でただくつろぎながら、私たちが神の創造物を台無しにするのを見ているかのように聞こえますが、そうではありません。ピリピ人への手紙のこの一節を見てください:

“あなたがたのうちに働きかけて、その願いを起させ、かつ実現に至らせるのは神であって、それは神のよしとされる場所だからである。”

ピリピ人への手紙 2:13 口語訳

神は働く。

私は、神が弁当を詰め、ペンドルトンのチェック柄シャツを着て仕事に出かける姿を思い浮かべます。そして神の仕事は...私です。そして神の仕事はあなたです。あなたは神の作品です。あなたは神の建設現場です。あなたの家族は神の建設現場です。B4は神の建設現場です。神は私たちの中で働いています...そして神は自分の仕事を愛しています。ゾクゾクします。エペソ人への手紙の「作品」という言葉は「詩」という言葉です。それは芸術作品です。傑作です。傑作には時間がかかります。私たちは神の作品であると書かれています - キリスト・イエスに創造されました。その創造という言葉は「形作る、または形づくる」という意味です。

ミケランジェロのピエタ。(写真)25歳の誕生日前に制作されました。彼は1年かけて、完璧な黒い大理石1枚からこれを彫りました。バチカンに所蔵されており、見るにはイタリアまで行かなければならず、触ることもできません。唯一無二の貴重なものです。

こちらも1つ。ウェイフェアーで56ドルです。(写真)。工場で大量生産されています。

私たちはウェイフェアーの安物ではありません。傑作です。神は私たちに働きかけています。神は私たちが形作り、形成しています。そして、神は私たちが誰かの机の上に置くために形成しているのではなく、私たちが働くようにも形成しています。神は私たちが「神の喜びのために意志を持ち、働く」ように働きかけています。私たちは流れ作業の産物ではなく、流れ作業で働くために作られたわけでもありません。

私たちは神の作品であり、仕事のために創造されました。どのような仕事でしょうか？神が私たちのためにしてくださっているのと同じ種類の仕事です。

ですから、愛されている子として、神の模範に従い、愛の道を歩みなさい。キリストが私たちを愛し、私たちのためにご自身を神への香ばしい供え物、また犠牲としてお与えになったように。エペソ人への手紙 5:1-2 NIV

神がなされることを見て、あなたもそれを実践してください。親から正しい振る舞いを学ぶ子供のように。神がなされることは、ほとんどの場合、あなたを愛することです。神と共にいて、愛の人生を学びましょう。キリストが私たちがいかに愛されたかを観察してください。キリストの愛は貴重なものではなく、惜しみないものでした。キリストは私たちから何かを得るために愛したのでは

なく、ご自身のすべてを私たちに与えるために愛したのです。そのような愛を。エペソ人への手紙 5:1-2。メッセージ

私たちはこの世界でどんな仕事をするように召されているのでしょうか。愛の仕事です。それはさまざまな方法で表現できますが、最大の戒めからエペソ人への手紙のこの節、そして聖書の他の多くの記述まで、愛なしに行われることは神なしに行われるのだと私には思えます。愛は神の仕事の特徴であり、レシピであり、神が行うすべてのことの貫く流れです。愛です。そして、私たちが自分の仕事について話すとき、愛という言葉は扱いにくいものです。私たちは自分の仕事を愛していますか？そうではないかもしれません。しかし、私たちは愛をもって自分の仕事をすることができますか？それはより良い質問です。私たちがしていることは、それが何であれ、私たちの世界における神の愛の知識の拡大に貢献していますか？これは大きな問題です。なぜなら、私たちの世界は消費者で満ちているからです。奪い、使い、乱用し、蓄え、破壊する人々です。愛の不足は、私たちがエデンの東に住んでいた頃から存在しています。この消費の混沌の中に、神は愛の創造者、愛の与え手として、愛の働きを置きました。私たちが愛の産物であることを理解すると、私たちの中にある愛は再生可能な資源であることがわかります。私たちが与え続けると、愛は成長し続けます。神の手による仕事は常に人間関係に関するものです。しかし、時には私たちの手による仕事が人間関係から私たちを遠ざけます。例: 交通機関。情報。創造物は私たちを創造主から引き離し、神に近づけないシステムを構築しました。(これは本当に重要なことなので、選挙シーズンが進むにつれて、これについてさらに話します。)

神の働きと同じように働くためには、私たちの意志を神の意志と結び付ける必要があります。神のやり方ではなく、私たちのやり方で働きたいと思う理由は無数にあります。ですから、私たちは聖霊に、私たちの魂の望みという土壌に働きかけ、私たちの召命の希望を中心にそれらを方向づけてくださるよう、進んでお願いしなければなりません。

“わたしの愛する者たちよ。そういうわけだから、あなたがたがいつも従順であったように、わたしが一緒にいる時だけでなく、いない今は、いっそう従順でいて、恐れおののいて自分の救の達成に努めなさい。あなたがたのうちに働きかけて、その願いを起させ、かつ実現に至らせるのは神であって、それは神のよしとされる場所だからである。”

ピリピ人への手紙 2:12-13 口語訳

パウロが仕事と救いを同じ文で使うとき、私はいつも少し冷静になります。しかし、まさにここで彼がやっていることはそれです。彼は、救いは神からの無償の贈り物であり、その贈り物を私たちの生活にどう取り入れるかを学ぶために神と協力するのは私たちの責任だと言います。つまり、私たちの世界でそれをどう歩み、話し、呼吸し、生きるかを学ぶのです。職人技は、彼らが意図された仕事をするために学びます。彼らはそのために作られたのです。ミケランジェロの彫刻に戻ります。彫刻の仕事とは何でしょうか？ほとんどの場合、それは芸術家のスキルと優雅さ、労働倫理を反映することです。ピエタはイエスとマリアの反映として立っていますが、私はそれを見てイエスについて考えることはほとんどなく、職人について考え

ます。彼の手がそれを作り、完成させたのです。私たちの人生はそのようなものです。私たちが行う仕事は証人の仕事です。私たちはイエスの恵みと善良さを証言します。彼の希望と癒しに。癒された命は、癒しの神を証しします。解放された命は、私たちに自由してくれる神を証しします。繁栄する命は、私たちを通して見られる美しい果実を私たちの中に育てている美しい庭師である神を証しします。私たちは神の作品であり、善行のために、人々を愛の王へと導く愛の働きのために創造されました。

パウロはその箇所で、私たちの意志と行動の両方に働きかけてくださるのは神であると言っています。意志と行動。これは素晴らしいニュースです。私たちが神に近づくことを許せば、神は私たちの心の欲求に働きかけることができます。神は私たちの心を愛の善行へと動かし、私たちが単なる消費者ではなく創造者となるようにすることができます。

時々、意見の合わない人を愛するときを感じる葛藤について話す人がいます。それは彼らの行為を承認しているように思われませんか？この聖句をもう一度読んでみましょう：

“そこで、あなたがたに、キリストによる勧め、愛の励まし、御霊の交わり、熱愛とあわれみとが、いくらかでもあるなら、どうか同じ思いとなり、同じ愛の心を持ち、心を合わせ、一つ思いになって、わたしの喜びを満たしてほしい。”

ピリピ人への手紙 2:1-2 口語訳

イエスはどの時点であなたを愛し始めたのでしょうか？あなたが安定し、自由で、栄えていたときですか？それとも、あなたが壊れ、悲しく、罪深かったときですか？私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために亡くなりました。私たちを愛することに全生涯を捧げたのです。そのように愛してください。その種の愛の証人になってください。必要なときには境界線を設けてください。しかし、愛することをやめないでください。そして、最もありそうもないところでも神は最善の働きをなさると信じることをやめないでください。なぜ私たちがそれを確実に知っているか知っていますか？

今朝、大画面で読んだ言葉はすべてパウロが書いたものです。パウロは神の意志に非常に反対した人物で、ステファノの石打ちを最前列で見っていました。初期の教会のコミュニティでは、パウロは小グループに招待される可能性が最も低いと投票されました。そして、パウロが神の作品を破壊しようとしていたとき、神は彼に会い、彼を愛し、彼を生き返らせました。そして、その場所から、私のお気に入りの詩の一つが書かれました：

“天上にあり地上にあって「父」と呼ばれているあらゆるものの源なる父に祈る。どうか父が、その栄光の富にしたがい、御霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強くして下さるようになり、また、信仰によって、キリストがあなたがたの心のうちに住み、あなたがたが愛に根ざし愛を基として生活することにより、すべての聖徒と共に、その広さ、長さ、高さ、深さを理解することができ、また人知をはるかに越えたキリストの愛を知って、神に満ちているもののすべてをもって、あなたがたが満たされるように、と祈る。”

エペソ人への手紙 3:15-19 口語訳

私たちが行う仕事は証しの仕事です。愛がなければできません。今日、あなたの仕事に愛を注入する必要がありますか？ 私が言うことを信じてください。あなたはすでに傑作です。あなたは神の作品であり、神はあなたの心に愛を植え付けました。